

令和6年 第1回 議会定例会

一 般 質 問

1. 7番 大野 忠寄

2. 9番 軍司 俊紀

3. 3番 増田 葉子

4. 2番 松本 有利子

5. 1番 松尾 榮子

6. 4番 塚田 湧長

7. 6番 柴田 圭子

印西地区環境整備事業組合議会

議席7番 大野 忠寄 議員

(仮称) 印西クリーンセンター次期中間処理施設整備運営事業

【質問1】 非価格要素審査に関する提案書類に係る主な比較について

(1) 災害対策について

- ① 防災備蓄品(食料・飲料水等)300名×3日分、一時避難スペース300名分とありますが、防災用の簡易ルーム・テント、間仕切り等また、エアーマットや段ボールベット、簡易トイレなどの備蓄はされるのか。

【質問2】 印西地区一般廃棄物最終処分場に係る経費について

- (1) 他県自治体のクリーンセンターで同等の焼却規模を有するか、近しい施設での工事・運営・維持管理費が当施設より安価と見受けられる物件について、当該施設は切土工事がある為、工事費が嵩むとされているが、その工事費や埋め戻し場所の選定は行われているのか。

【質問3】 審査講評について(令和5年12月27日付・P8)

(1) 第3章 事業者の選定結果 表5 入札参加表明者について

- ① 青グループでの協力企業4社の各工事施工内訳と工事請負金額について

【質問4】 次期中間処理施設整備事業の落札価格について

(1) 工事価格の各市町の負担割合と金額について

議席9番 軍司 俊紀 議員

【質問1】 災害廃棄物処理について

頻繁に自然災害が発生する我が国で、災害廃棄物等の処理は、災害発生直後から取り組むべき重要な課題である。平時の廃棄物処理との違いは、仮置場や最終処分場の確保、リサイクル等の中間処理を災害対応の混乱時に進めることであると考えるが、災害は、地震に限らず、種類、規模等が予想できず、災害廃棄物等の処理を一律に行うことが難しく、災害発生後、対症療法的に対応しているのが現状である。

印西地区環境整備事業組合では今回の能登半島地震の発生に際し、どのような課題認識があり、どのような対応が必要であると考えているのか。

【質問2】 次期中間処理施設整備事業の今後の見通しについて

今回の定例議会の中で「契約議案」が提出されているが、関連して、以下について確認をする。

- (1) 令和5年度をもって、①施設整備基本設計・建築工事発注支援業務及び、②長期責任型運営維持管理発注支援業務は完了するのか。
- (2) 都市計画協議は進んでいるのか。
- (3) 地域振興事業について

次期中間処理施設整備事業地域振興策に係るサウンディング型市場調査業務委託が終わり、ヒアリングにおける意見一覧が公開されている。今後の事業進捗はどのようなものとなるのか。

【質問3】 令和6年度の事業計画を確認する。

- (1) 印西霊園募集（合葬式墓地）の令和6年度の受付について
- (2) 平岡自然公園整備計画について
印西斎場の今後の在り方について、どのような事業を行うのか。
- (3) 処理困難物ストックヤードをどのように考えているのか。

議席3番 増田 葉子 議員

【質問1】 構成市町との協議・連携について

印西クリーンセンターの移転整備という大事業において、本体施設はようやく目途がついたと言えるところまできたのではないのでしょうか。しかし、これからが本番と思われる地域振興施設、移転後の現在地の活用などでは、構成市町とますます協議を深めなくてはなりません。これまでどのように協議の機会が設けられてきたのか、また、今後、どのように協議をしていくのか伺います。

- ① 通常業務での協議はどのようにされているのか。
- ② 地域振興施設の整備において、どのような協議がされてきたか。
また、今後どのような協議が必要と考えているか。
- ③ 現在地の活用についてどのような協議をしてきたか。
今後、どのような協議が必要か。

議席2番 松本 有利子 議員

【質問1】次期中間処理施設について

- (1) 状況について
- (2) 事業者選定における審査結果の比較について
 - ① 価格
 - ② 事業計画
 - ③ 地域住民の理解と協力を確保する安全・安心な施設整備
 - ④ 循環型社会形成と地域活性化の拠点となる施設整備
 - ⑤ 経済性と高度なシステムの両立を目指した施設整備
 - ⑥ 点数に現れない部分においての違いはあるか。
- (3) 令和4年第1回議会定例会において、事業者選定における評価点が僅差となった場合の判断を伺ったところ、仮契約の事業者を最終的に判断するのは管理者とのことだった。最優秀提案者が選定されたことを受けて、組合でどのような協議を行ったか。
- (4) 現クリーンセンター、温水センターの処分方針について以前質問した際、印西市の意向も伺いながら進めるとのことだったが、その後本組合と印西市とでの協議等はあったか伺う。
- (5) 今後について

議席1番 松尾 榮子 議員

【質問1】次期中間処理施設整備事業について

(1) 事業者の選定方法について

① 入札方式について

本事業は、多額の費用をかけて、印西地区全体のごみ処理を行う次期中間処理施設の設計・建設・運営維持管理を行う非常に重要な事業である。事業者の募集・選定にあたり、入札方式等についてどのような考えで臨んだか伺う。

(2) 入札結果について

① 赤グループ、青グループの入札額に設計・建設費で約20億2000万円、20年間の運営・維持管理費で約7億5600万円の差があり、合計約27億7700万円の相違がある。この差額について組合ではどのように考えているか。

② 近年の全国での同種の焼却施設建設費との比較はどうか。

③ 組合の予定価格に対して、各グループの提案額（落札の場合の落札率）はどれだけになるか。

④ 予定価格が相当高い設定になっていたのではないかとと思われるが、どう考えるか。

⑤ 非価格要素は、事業計画、安全安心な施設整備、循環型社会形成と地域活性化の拠点施設、経済性と高度なシステムの両立、など経済性や社会性、施設と地域との連携などの面を見る重要な項目である。組合では今回、価格点の割合を上げたとのことだが、非価格点がそれを上回り、逆転したという理解でよいか。

⑥ 非価格点が上回った採点について、組合として妥当性の確認は行ったか。

(3) 今後のスケジュールについて

(4) 次期施設関連道路について

① 環境影響評価に伴い動植物重要種等の移植、また用地買収の難航により、令和5年度、アクセス道路の線形の変更等が行われたところであるが、令和6年度以降の事業予定はどうか。

② 仮設道路及び地域振興策用地内の既設道路の拡幅工事の状況はどうか。

③ 本体の令和10年4月の稼働開始に間に合うのか。

【質問2】 霊園事業について

(1) 令和5年度、合葬式墓地が整備され、令和5年10月16日から使用申請の募集受付が開始された。

- ① 令和5年度の整備内容（基数）について
- ② 申込状況について
- ③ 今後の整備予定について
- ④ 市民への周知について

(2) 芝生墓地について

- ① 現在第3期整備分（第4区）を分譲中と思うが、現状の空き区画数は。
- ② 第5区約1000基分が令和5年度整備される予定であったと思うが、現状はどうか。
- ③ 暫定的に地元開放しているパークゴルフ場の今後の状況はどうか。

(3) 平岡自然公園体育館の修繕および平岡斎場・霊園内の駐車場の区画線について、以前から利用者の声があるが、対応はどうか。

議席4番 塚田 湧長 議員

印西クリーンセンター一次期中間処理施設整備運営事業の入札について

整備運営事業者選定委員会の審査講評の総評において、「2グループからの提案はそれぞれに本事業の有する課題に対応する創意工夫がなされ、両者とも要求水準を満たすもので内容も拮抗しておりレベルの高い魅力的な提案で有った。」との評価を下されている中で、約28億の価格差が有る高価格のグループに落札決定された。

【質問1】要求水準が満たされ、レベルの高い提案であるなら、総合評価点がわずかに高い高価格者を落札する不自然さを回避して、①低価格者を落札者とする選択肢は検討されなかったのか。

【質問2】設備の整備・運用において、「経済性と高度なシステムの両立を目指す」ことを基本目標にしている。

- ① 落札価格の経済性はどの様に評価したのか。
- ② 上記の両立目標を満たしていると評価したのか。
- ③ その評価の根拠を伺う。

【質問3】管理者・副管理者会議では、「両者を比較し、答申の結果が根拠ある」と断定されているが、①両者の比較はどのような内容で行われたのか。

議席6番 柴田 圭子 議員

【質問1】次期中間処理施設の入札について

次期中間処理施設選定において、当組合では総合評価落札方式における除算方式と加算方式のうち、加算方式で行われた。その結果、価格点で優位だったAグループが非価格要素点との合計でBグループにわずか0.35点という僅差で及ばないという結果となった。

非価格要素点というのは数値として確定しにくい項目が多い。数十年に一度という大事業であり、今回の評価における妥当性を納税者である市民に対し納得のいく説明が求められる。

そこで以下伺う

- ① 国や千葉県のガイドラインに則らない加算方式を採用した理由
- ② 非価格審査項目の評価について
- ③ 選定委員会における審査経過、審査内容
- ④ 管理者・副管理者会議における議論